

平成 29 年度

第 5 回 浜松市災害バイクボランティア定例会 事業報告

【日 時】

平成 30 年 3 月 11 日 (日)
10:00~

【参加者】

野中 (天竜区)、川島、柳沢 (浜北区)、
中嶋 (北区)、平間、岩瀬 (中区)、
渡瀬、徳武 (地域支援課)

【ミーティング】

今年度第 5 回目の定例会では、6 名
が参加されました。

ミーティングでは、前回試走のふり
返しを行いました。スーパー林道では、
石や枝が多く落ちており、普段使用し
ている道路では確認できない状況を経
験することができました。

また、今年度最後の定例会となるた
め、平成 29 年度の一年間の事業をふ
り返りました。事業の内容を見直し、
来年度もよりよい事業展開が出来れば
と思います。

そして、来年度の計画について話し
合いました。バイクのふるさと浜松へ
の参加をはじめ、秋ごろには走行会
の実施を検討しています。

この日は、3 月 11 日、東日本大震
災の発災した日ということで、ミーテ
ィングの最後に黙とうを捧げました。

【情報共有・意見交換】

- 佐久間、水窪を中心に連絡会が発足した経緯があるため、定例会の実施を各区輪番にすることや、天竜区を中心に行う必要がある。
- 支部制にして、連絡役となるような地区担当を決めたい。
- 全体会議などで、全会員の意向を聞く機会が必要なのでは。
- ボランティア活動保険の加入を強制ではないが、お願いとして、加入してもらうように促す必要がある。万が一、ボランティア中に事故があった場合

に備えるべき。

- 会費制にして、保険加入を促すべき。
- (可美公園) 災害時に津波や液状化が予期されるのではないかと。海抜が低い事に加え、地元の古い話から湿地等からの埋立地である可能性がある。
- 震災からの教訓<昭和東南海地震>メンバーがお母様より教わった話では、昭和東南海地震で中沢の日本楽器工場まで津波が来たとのこと。
- 震災からの教訓<阪神淡路大地震>

【試走】



ミーティングにて挙げた過去の災害
跡から縣居神社と旧東海道をまわりまし
た。津波について、中沢の件、縣居神社の
件、旧東海道の件を合わせて考えると、現
在の津波ハザードマップの範囲よりやや
広い範囲まで津波が到達していたよう
です。メンバーの感想として、今年度に集
合場所としていた福祉交流センターも浸水
するかもしれないとの話も挙がりました。

平成 29 年度

第 5 回 浜松市災害バイクボランティア定例会 事業報告

- 縣居神社

メンバーの若い頃、地質に詳しい知り合いより縣居神社南斜面に洪水の痕跡がある事を教えてもらったそうなので、それを見に行きました。残念ながら、現在は神社の整備が進んだ為か地層がむき出しになっている箇所がなくなってしまっていました。かなり高い場所にあり、相当な高さの津波だったものと推定されます。

- 旧東海道

国道一号線やや北の旧東海道を進むと、そのすぐ北が高台になっており、寺社仏閣が高台上に築かれて居ると共に現在では津波避難の看板が目立つ事に気づかされます。家々が流されたとの言い伝えもあるそうです。